

「おいしいお茶のいれ方」教室

～日本の伝統食品「お茶」の文化を伝える食育活動～



家庭科

伝統・文化

総合（食育）

講師 (株)伊藤園 社員

- ② 導入：クイズ形式で、お茶の歴史、産地、種類、飲んでいる頻度数等を学ぶ。
- ② 解説：スライド（パワーポイント）を利用して、産地、種類、文化、歴史、生産方法、健康性等について学習する。
- ③ 体験：グループに分かれ、おいしいせん茶のいれ方（きゅうす利用）を体験した後、お茶のうま味、渋みを楽しむことを経験する。



【児童の感想文から】

- おいしくお茶をいれるポイントについて学びました。これからは茶葉の量や、お湯の量にも気をつけていきたいです。
- お茶はせん茶からできていること、また約 4000 年前からあったという話におどろきました。
- お茶のことをもっと知りたく、伊藤園の公式サイト、図書館で本を見つけ調べられたのでありがたいと思った。
- 葉をどのくらいいれればその人好みになるかを考え実際にお茶をいれてみて、難しかったけど楽しかった。
- お茶の授業をうけてお茶についてわかったので良かった。親にも問題を出したが分からないといっていました。
- 静岡県のお茶の産地が一位だったのでおどろきました。これからお茶についてもっとわくわく知り自分でもお茶をいれたい。
- 今日のお茶の授業でいろいろ分かりました。お茶をいれたら 20 秒待つと分かったので家でお茶をいれてあげました。
- 伊藤園の方々にやさしく教えていただいたので、祖父・祖母に家できゅうすを使いお茶をいれてあげたいと思いました。
- お茶には疲れをとる成分なども入っているから母に飲んでもらい、母の疲れがとれるかなと思いました。
- 自分でお茶いれたことがなかったので授業で自分でいれてみたら楽しかった。これからも家でもいれていきたいです。
- 僕は授業の後、おばあちゃんにいれてあげたら、おいしいと言ってくれたので、授業のおかげと思いました。感謝します。
- お茶をいれる時は、量と香りが大切だということがわかりました。次は静岡県でお茶をつみたいです。
- お茶はカゼ、インフルエンザ、虫歯、ガンをふせぐ役目をするということを初めて知りました。

【担当の先生から】

- 出前授業を通して、子どもたちはさらにお茶に興味を持ち、家でも家族のためにお茶をいれる姿もみられました。
- 出前授業後に学年で『お茶新聞』を作りました。とても良い学習になりました。有難うございました。